

【科目等履修生・聴講生・KGLP 出願者向け】

新授業スケジュール&受講ガイド

💡 本学では、2026 年度より授業スケジュールおよび授業時間帯を変更します。
このガイドでは、新授業スケジュールにおける授業の受講に関する主な変更点や必要な事項の概要をお知らせします。

詳細につきましては、本ガイドに掲載されているリンク先の情報を必ず確認してください。

⚠️ 2025年度以前の受講生は、変更点に注意してください。

<目次>

I. 2026年度以降の授業スケジュールについて.....	2
1. 変更の目的・狙い	2
2. 主な変更点.....	2
3. 授業スケジュールを含む学年暦、授業日程、授業時間帯.....	3
4. 授業構成	3
5. スタートアップウィーク	4
6. フレックスアワーズ.....	4
7. 授業科目実施区分について	5
8. 授業実施方法について	5
9. オンライン授業の受講方法について	6

I. 2026年度以降の授業スケジュールについて

1. 変更の目的・狙い

- 主体的な学びを支援する柔軟な教育プログラムの提供や、ICT を活用した教育への転換を進めることにより、教育効果のさらなる向上を図ります。
- 昼食時間の確保やキャンパス間における授業時間の統一など、従来の授業スケジュールにおける課題を改善し、より良い学修・教育環境を整備します。
- 大学全体の教育プログラムを拡充し、学生の皆さんが自らの目標や関心に応じて、留学・海外研修、資格試験・検定試験、インターンシップ等に主体的に取り組むことができる環境を推進します。

2. 主な変更点

●授業時間の変更と授業時間帯の統一

1時限あたりの授業時間を100分から90分に変更し、西宮上ヶ原・西宮聖和・神戸三田の3つのキャンパスで授業時間帯を統一します。これにより昼休みは60分となり、5時限の終了時刻は18:20となります。(詳細は後述「3. 授業スケジュールを含む学年暦、授業日程、授業時間帯」参照)。

●「スタートアップウィーク」の新設

春学期・秋学期の第1週に「スタートアップウィーク」を設け、各授業科目の目的や内容を含む初回授業をオンデマンド動画で確認できる仕組みを導入します(一部科目を除く)。授業の意図やシラバスの内容を十分に理解し、受講に役立ててください。

●授業スケジュールの変更と「フレックスアワーズ」の新設

時間割に基づく授業の週数を1学期あたり14週から12週(これをコアウィークス^{※1}と呼びます)に変更し、例えば週1回2単位の講義科目の場合、270分(3週分)の授業をオンラインなどで行う「フレックスアワーズ」と組み合わせて実施する授業構成となります(後述「4. 授業構成」参照)^{※2}。「フレックスアワーズ」の授業実施方法は、オンライン授業または対面授業とし、各担当教員が科目の内容や性質に合わせて最適な方法で実施します。

※1 コアウィークス:時間割で定められた曜日・時限に教室等で実施する授業の期間(各学期12週)

※2 各科目の単位修得に必要な学修時間数に変更はありません。

●「授業・試験期間」の設置

定期試験(通年科目の中間試験を含む)もしくは授業を実施できる期間として、「授業・試験期間」を設置します。西宮上ヶ原・西宮聖和キャンパスは7日間、神戸三田キャンパスについては、17日間

とします(詳細は後述「3. 授業スケジュールを含む学年暦、授業日程、授業時間帯」参照)。

また、2026 年度以降、補講日は設けず、補講※は原則オンライン(オンデマンド型、課題提示型)にて実施します。やむを得ず、対面補講またはオンライン補講(同時双方向型)で実施する場合は、土曜日を原則とします。

※補講:休講等、授業の実施に不都合が生じた場合に、授業時間数の不足を補い、授業科目全体の時間数を確保するために実施する授業

3. 授業スケジュールを含む学年暦、授業日程、授業時間帯

授業スケジュールを含む学年暦や授業日程、授業時間帯は、以下をご確認ください。

2026 年度授業スケジュール :<https://www.kwansei.ac.jp/about/calendar>

授業時間帯: <https://www.kwansei.ac.jp/about/timetable/>

4. 授業構成

各学期「コアウィークス(12 週×90 分の時間割に基づく授業)」と「フレックスアワーズ(各担当教員が科目の内容や性質に合わせて最適な方法で実施する授業時間)」を組み合わせた授業構成を基本とします。「フレックスアワーズ」は授業外学修時間ではなく授業に含まれます。

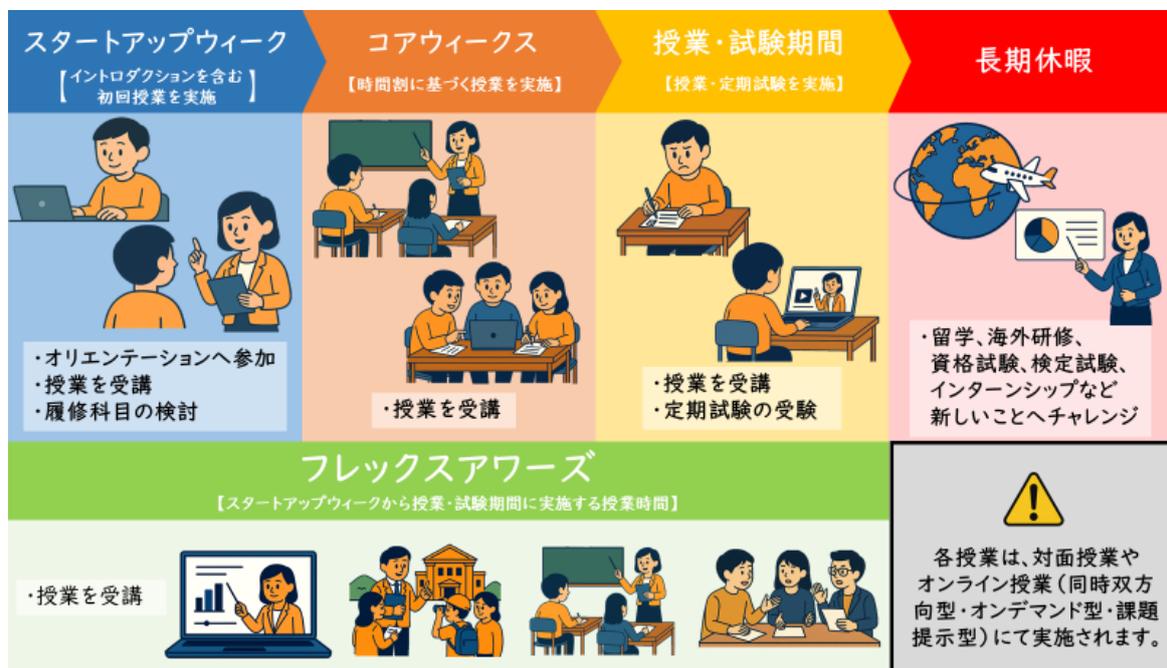
週 1 回 2 単位の講義科目は、例えば以下のような授業構成になります。

<(例) 週 1 回 2 単位の講義科目の場合の授業構成>

	スタートアップウィーク	フレックスアワーズ		
コアウィークス	1 週	授業※ ¹	90分	270分
	2 週	授業※ ¹	90分	
	3 週	授業※ ¹	90分	
	4 週	授業※ ¹	90分	
	5 週	授業※ ¹	90分	
	6 週	授業※ ¹	90分	
	7 週	授業※ ¹	90分	
	8 週	授業※ ¹	90分	
	9 週	授業※ ¹	90分	
	10 週	授業※ ¹	90分	
	11 週	授業※ ¹	90分	
	12 週	授業※ ¹	90分	
	授業・試験期間※ ²	フレックスアワーズ		総授業時間数 1350分

※¹ 時間割で定められた曜日・時限で開講している授業

※² 定期試験は除く。一部科目については、授業・試験期間終了後も授業を実施する場合があります。



5. スタートアップウィーク

スタートアップウィークは、春学期・秋学期の第1週に新たに設けられた、授業の意図やシラバスの内容を含む初回授業を原則オンライン授業（オンデマンド型）にて実施する期間です。

スタートアップウィーク中にオンデマンド動画を確認し、授業の意図やシラバスの内容を十分に理解し、受講に役立ててください。スタートアップウィークに実施するオンライン授業（オンデマンド型）の視聴用URL は、スタートアップウィークの初回授業実施日中までに、シラバスの「授業計画」欄の第1回に記載されますので、シラバスからアクセスして視聴してください。

⚠ 一部の科目においては、スタートアップウィークに対面授業もしくはオンライン授業（同時双方向型）を実施する場合があります。受講科目のスタートアップウィークにおける授業実施方法については、シラバスの「授業計画」欄にて必ず確認の上、授業を受講してください。

6. フレックスアワーズ

フレックスアワーズは、大学設置基準や関西学院大学学則等で定められた総授業時間数に対して、コアウィークスの定められた曜日・時限以外で、各担当教員が科目の内容や性質に合わせて最適な方法で実施する授業時間です。

フレックスアワーズにおける授業の内容や実施時期については、受講科目のシラバス（詳細は後述「Ⅱ. シラバス」参照）を必ず確認してください。

なお、フレックスアワーズは、以下の期間に実施する可能性があります。

・スタートアップウィーク※ ¹	・授業期間中（授業・試験期間を含む）の土曜日
・コアウィークスにおける授業設定日ではない日※ ¹ ※ ²	・授業・試験期間（授業・試験予備日含む）※ ¹
・コアウィークスにおける時間割で指定された曜日・時限 以外の日	・授業・試験期間（授業・試験予備日含む）終了後

※¹ 対面授業またはオンライン授業（同時双方向型）の場合は、時間割で定められた曜日・時限に実施します。

※² 2026年度 授業設定日ではない日：5月7日（木）、5月8日（金）、12月23日（水）、2027年1月12日（火）

7. 授業科目実施区分について

授業科目の実施区分は、次のとおり、「対面授業科目」と、「オンライン授業科目」3種類の計4種類があります。各授業科目の実施区分は、シラバス（後述「Ⅱ. シラバス」参照）の「授業科目実施区分」欄に明記しています。対面授業科目においても、フレックスアワーズの授業をオンラインで実施する場合がありますので、各回の授業実施方法については、シラバスの各回の「授業計画」欄を確認してください。

<授業科目実施区分>

用語	定義
対面授業科目	対面授業の時間数が総授業時間数の半数以上の授業科目。
オンライン授業科目	オンライン授業の時間数が総授業時間数の半数を超える（対面授業の時間数が総授業時間数の半数未満の）授業科目。
同時双方向型	定められた学期の定められた曜日・時限にオンラインで授業をライブ配信（同時双方向の生放送）する科目。授業の一部を対面授業で実施することがある。
オンデマンドA型 （時間割あり）	定められた学期の定められた曜日・時限までに予め収録した授業動画をオンデマンド配信（非同時・片方向の収録放送）する科目。授業の一部を対面授業で実施することがある。
オンデマンドB型 （時間割なし）	定められた学期のシラバスで明記された時期までに予め収録した授業をオンデマンド配信（非同時・片方向の収録放送）する科目。曜日・時限は指定しない。また、総授業時間数の全ての授業をオンデマンド配信する。

8. 授業実施方法について

各回の授業の実施方法には「対面授業」と「オンライン授業」の2種類があります。また、本学では「オンライン授業」をさらに3種類に区分しています（下表参照）。対面授業とオンライン授業を組み合わせた授業構成が基本となります。受講科目の各回の授業実施方法については、シラバスの各回の「授業計画」欄を確認してください。

<授業の実施方法>

用語	定義
対面授業	学内の教室や学外にて対面で実施する授業方法。
オンライン授業	多様なメディアを高度に利用して対面以外で実施する授業方法。意見の交換の機会が確保され、いわゆる同時性又は即応性を持つ双方向性(対話性)を有し、対面授業に相当する教育効果を有するもの。
(同時双方向型)	オンラインで授業をライブ配信(同時双方向の生放送)する方法。
(オンデマンド型)	予め収録した授業動画をオンデマンド配信(非同時・片方向の収録放送)する方法。
(課題提示型)	対面授業において課されるものに相当する学修課題がオンラインで提示され、オンラインで提出する方法。

なお、補講の実施方法はオンライン補講(オンデマンド型、課題提示型)を原則としていますが、担当教員が決定します。補講の実施日や実施方法は授業内やLUNA(学習支援システム)、メールなどを通じて案内されますので、確認してください。

9. オンライン授業の受講方法について

オンライン授業の受講方法については、授業内やシラバス、LUNA などを通じて案内されますので、担当教員の指示に従ってください。

なお、授業スケジュールの変更に伴い、オンライン授業(オンデマンド型)等を活用した授業が増えることから、新たに動画配信ツール『Panopto(パノプト)』を導入していますが、その他の動画配信ツールを用いる場合もありますので、担当教員が指示する方法で授業を受講してください。

<オンライン授業の配信・視聴方法>

	配信方法	視聴方法
スタートアップウィーク	動画配信ツール『Panopto』/ 『Panopto』以外のツール	シラバスの「授業計画」欄の第 1 回に記載されている視聴用 URL からアクセスする。
スタートアップウィーク 後	動画配信ツール『Panopto』	LUNA にログインし、オンデマンド動画を視聴したい科目を選択すると、Panopto ボタンが表示されるので、ボタンをクリックする。
	『Panopto』以外のツール	授業内や LUNA などを通じて動画の視聴方法が案内される。

以上